

事例に学ぶ自治体改革

生成AI で変わる自治体業務

主催 一般社団法人Maniken

協力 早稲田大学デモクラシー創造研究所
NTTアドバンステクノロジー株式会社

開催日時

12/18^木
13:30~16:30
zoom開催/無料

対象 主に自治体職員

(行政改革・情シス・デジタル担当などDX関連部署)

申込先 早稲田大学デモクラシー創造研究所HPまたはFAX(裏面)

<https://waseda-idi.jp/archives/4767>

※12月17日(水)までにお申込ください。

連絡先 03-5324-2718 / mani@maniken.jp

事務局:(一社)Maniken 担当 山内・中村

お申し込みはWEBまたは
裏面FAX申込用紙から



東京都葛飾区 DX戦略課長 小原 竹志 氏



事例 葛飾区におけるAI活用の最前線 ～住民サービス向上を目指すリアルタイムAIの挑戦～

葛飾区は、全国に先駆けて「音声認識を活用したAI窓口」の取組に挑んでいます。職員と来庁者の会話をAIがリアルタイムに解析し、区の条例やマニュアル、関連書籍などをとくに、職員に適切な情報を提示します。

これまで窓口で難しい質問や相談があった際には、上司に確認する間、来庁者をお待たせすることもありました。この光景をAIが変えようとしています。

区では、2023年の生成AIの試行から始まり、独自データを活用したRAG技術によって回答精度を高める取り組みを重ねてきました。

2025年9月には戸籍住民課の窓口で実証実験を行い、令和8年度に本格導入し、取り扱い窓口の拡大を目指します。

「職員はスーパーマンではない」と語る青木区長の言葉どおり、葛飾区のAI活用は、人の力を補い、窓口業務の質を高めるための現実的な挑戦です。

本講演では、庁内向け「かつしかChat」から行政特化型AIエージェントシステム試行導入に至るまでの道のりを紹介します。



技術解説 葛飾区AI導入の裏側と、生成AIの最新動向

NTTアドバンステクノロジー(株) エヴァンジェリスト 佐藤 周一 氏

葛飾区の生成AI導入を技術面から支援してきたNTTアドバンステクノロジーが、プロジェクトの舞台裏を解説します。

「かつしかChat」でのRAG精度向上への工夫や、窓口での音声認識連携の実際、そして導入時の苦労や課題解決のプロセスを、AIスペシャリストの視点から紹介。

さらに、国産LLM『Tsunami2』の最新動向にも触れ、公務現場における生成AI活用の今とこれからを展望します。

茨城県取手市 情報管理課長 岩崎 弘宜 氏



事例 取手市のデジタル化推進への取り組み ～AI議答答弁書作成支援システムという衝撃～

取手市は、生成AIを活用した「答弁書作成支援システム」を導入し、議会対応や調査研究の効率化に取り組んでいます。質問内容から想定問答を生成し、議事録検索や各種計画、他自治体の事例を横断的に参照して、職員の業務や議員の活動を支援。単なる効率化ではなく、より深い政策議論につなげることを目的としています。

この取り組みを牽引するのは、かつて議会でも事務局の立場からデジタル化を推進した岩崎課長。AI音声認識システム、RPA、取手市役所DX展、スマホサポート教室など、幅広くデジタル化施策を進めています。

本講演では、優れたシステムを入れるだけでなく、議会と執行部、ベンダーをどう巻き込み、ユーザーである職員に「使われる仕組み」を作っていくか、その体験を語っていただきます。



まとめ 手続き・許認可業務から創造的業務へ

早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長
熊本市市役所改革アドバイザー 中村 健

首長経験者であり現在は複数の自治体の支援を行う中村から、本セミナーの総括をします。

裏面FAX申込用紙 ▶

このチラシを関係部署に回付いただけますと幸いです